

# 立候補届

令和4年 2月 7日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 赤池 洋  推薦者氏名： 石田 礼 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内) :

私は山梨県言語聴覚士会で理事として11年間務めてきました。今まではホームページ管理部、広報部、職能部、災害対策支援委員会、学術大会実行委員会、そして副会長として多くの事業に携わってきました。

現在、言語聴覚療法をめぐる社会情勢が大きく変化し、言語聴覚士の活動は介護保険分野や福祉、保健・予防、教育の分野でより一層求められるようになっていきます。これからは県士会活動のさらなる発展のために貢献していきたいと思い、理事に立候補をさせて頂きました。

どうぞ宜しくお願い致します。

経歴：

## 【学歴】

2001年3月 帝京大学 文学部 社会学科 卒業

2005年3月 長野医療衛生専門学校 言語聴覚科 卒業

## 【職歴】

2005年4月 公益社団法人 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 入職

2007年4月 日本赤十字社 山梨赤十字病院 入職

2013年4月 国立大学法人 山梨大学医学部附属病院 入職

現在に至る

# 立候補届

令和4年 2月 1日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 赤池 三紀子



推薦者氏名： 杉本 久美子



立候補役務：  理事 ・  監事

(いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

2001年山梨県言語聴覚士会設立時より副会長として現在の県士会まで継続した活動を補助することができました。会員皆様のおかげで言語聴覚療法の普及・啓発、資質の向上に取り組むことができ、当会の活動は全国の中でも充実していると感じています。この2年はコロナ感染拡大でも失語症者向け意思疎通支援事業のために多くの会員に不自由な環境ながらお手伝いいただき、いよいよ支援者派遣が開始するまでに至りました。今後も地域で暮らす失語症のある方々のより良い暮らしのためにこの事業を普及していき、県士会活動のお役に立てるように立候補いたします。

経歴：

2001年4月 山梨県言語聴覚士会 副会長 (2014年4月 まで)

2014年5月 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 (現在まで)

2014年12月 一般社団法人日本言語聴覚士会 代議員 (2015年11月まで)

2015年12月 一般社団法人日本言語聴覚士会 代議員 (現在まで)

# 立候補届

令和4年 1月 26日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 石垣 亮太  推薦者氏名： 小林 亮成 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

この度、2期目の理事に立候補させていただきました。1期目は教育部部長として、新卒者研修の実施に携わってまいりました。

職場が変わり、地域の方々の声を直接聞ける機会が増加しました。その中に、言語聴覚療法を受けたくても受けられない方が多くおられるという声も含まれています。人材の拡充は難しいテーマですが、現在山梨県で働いている会員の皆様と共に、より高い水準で言語聴覚療法を提供することが出来る体制づくりを行っていきたいと考えています。そして、地域の方々が、よりよい人生を送ることが出来るよう、尽力していきたいと考えています。

経歴：

H20.4 鶴見緑地病院 入職

H24.10 浜松市リハビリテーション病院 入職

H31.4 山梨リハビリテーション病院 入職

R3.4 甲斐リハビリテーションクリニック 入職 現在に至る

# 立候補届

令和4年 2月 2日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 市川 奈弥



推薦者氏名： 野田 菜保子



立候補役務：  理事 ・ 監事

(いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

私は2期理事を務め、訪問リハビリテーション委員会と特別支援教育委員会を担当させて頂いております。どちらもPT・OTの方々と県内のリハビリテーションについて考えたり、全国の会議や研修会に参加させて頂いた時、山梨県のPT・OT・STの3士会が他県と比べても友好的な関係であることがわかりました。それは、諸先輩方が築き上げてくれた財産であることを実感しております。今後も諸先輩方を見習い、山梨県のリハビリテーションの発展に微力ながら尽力させて頂きたいと思っております。  
また、昨年より失語症者向け貴志疎通支援事業に関わらせていただいております。失語症者のバリアフリー社会を目指して今後とも活動させて頂きたいと思っております。STとしてもまだまだ未熟ですが、この県会が誇れる会であり続けるために活動させて頂きたいと考えています。

経歴：

平成13年3月 東京医薬専門学校卒業

平成13年5月 下部温泉病院(現しもべ病院) 就職

平成16年5月 山梨勤労者医療協会 巨摩共立病院 就職

令和3年4月 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院 異動

# 立候補届

令和4年2月1日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 内山 量史



推薦者氏名： 望月 智佳



立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

言語聴覚士を取り巻く環境は大きく変化し、県士会の果たす役割も学術活動(人材育成)、広報活動、特別支援教育、災害対策、関連他団体や県および市町村行政との連携を含めた職能活動など多岐にわたる時代となりました。地域包括ケアシステムの構築や地域リハビリテーション活動支援事業の推進は地域を支えるリハビリテーション専門職団体の力量にかかっていると思います。また、地域で生活を送る方々を支えるという視点では失語症友の会「ふじやま」の運営、山梨県から委託された「失語症者向け意思疎通支援事業」も重要な事業となります。コロナ禍の状況ですが、会員の自己研鑽の場となるような県士会活動を展開しながら顔の見える関係、会員手作りの活動が継続できるように努力いたします。

経歴：

医療法人景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科 部長  
平成2年3月 福井医療技術専門学校(現 福井医療短大)卒業  
平成2年4月 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 入職  
＜職能活動＞山梨県言語聴覚士会 会長、日本言語聴覚士協会 副会長、山梨県地域包括ケア推進協議会委員、山梨県インクルーシブ教育関係機関連絡調整会議委員、山梨県がんリハネットワーク協議会委員、日本音声言語医学会評議員、日本老年療法学会評議員、日本リハ病院・施設協会広報委員、全国リハ医療関連団体協議会報酬対策委員、日本災害リハ支援協会(JRAT)広報委員、チーム医療推進協議会理事、日本リハ医学会感染対策指針策定委員会協力委員、厚労省言語聴覚士学校養成所カリキュラム等改善検討会構成員

# 立候補届

令和4年2月1日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会  
選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 河西 祐子  推薦者氏名： 志摩 美月 

立候補役務：  理事 ・ 監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

これまで事務局長として、社員総会や理事会の開催、Zoomのスケジューリング、会員情報管理、各種情報提供等を行ってきました。また、地域支援事業等推進委員会や失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会の委員として、人材育成研修事業や意思疎通支援者養成研修等に携わってきました。

私達には、障害をもたれた方へのリハビリテーションだけではなく、活動や社会参加を促す活動、自立支援や健康寿命延伸のための予防的支援、地域づくりへの参画など多様な役割が求められるようになってきています。コロナ禍で顔を合わすことのできない日々が続いていますが、共に学び、自治体や関連団体との連携・協働により地域に貢献できる県士会活動が行えるよう努めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

経歴：

医療法人慶雲会	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	言語療法科
昭和58年4月	山梨温泉病院 (現山梨リハビリテーション病院)	入職
平成4年3月	同上	退職
平成7年4月	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	入職
平成22年4月	一般社団法人山梨県言語聴覚士会	事務局長

# 立候補届

令和4年1月30日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 桂川 謙石  推薦者氏名： 小室 理恵子 

立候補役務：  理事 ・ 監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

2016年より山梨県言語聴覚士会の教育部長として新人教育に2年間、会報編集・HP管理部長として4年間理事を務めました。今期は、コロナ禍においても県士会ニュースやホームページ運営を通して会員の皆様への情報発信を絶やさないよう努めました。特に県士会ニュースは、50号の節目を迎え、県士会活動並びに広報誌の変遷について記念号の発刊を行いました。ホームページについても、会員用と一般用のコンテンツに内容を整備し、多くの方が情報取得がしやすいようリニューアルしました。これまでの経験を活かし、県士会に微力ながら貢献できたらと考え、理事に立候補致します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

経歴：

2008年 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科 卒業  
同年 医療法人慈光会甲府城南病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法科 入職  
2016年 医療法人慈光会甲府城南病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法科 主任  
一般社団法人山梨県言語聴覚士会 理事 現在に至る  
<資格> 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士  
日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士 (失語・高次脳機能領域)


# 立候補届


令和4年 2月 2日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 佐々木 蘭子 

推薦者氏名： 依田 夏輝 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

これまで理事や学術大会の実行委員として県士会活動に携わる機会をいただきました。他団体との研修会など他職種の先生方と関わる機会もあり、チームとしての言語聴覚士の役割の重要性を再確認することができました。また、これまで2度開催された失語症者向け意思疎通支援者養成講習会では受講希望の方も多く、失語症へ対する意識の高さが窺えました。同時に失語症を正しく理解していただくことの難しさも感じました。コロナ禍で研修会の開催は感染対策の徹底などの準備もあり、企画・運営する側の苦労は大変なものであることも知りました。県士会員として少しでもお役に立てるよう微力ではありますが、これまでの経験を活かし尽力してまいりたいと思います。

経歴：

2002年	福井医療技術専門学校 (現：福井医療大学) 卒業
	小田原市立病院 入職
2006年	小田原市立病院 退職
	春日居リハビリテーション病院 (現：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院) 入職 現在に至る
2010年～	一般社団法人日本言語聴覚士協会 会報編集部 (現：広報部)
2014年～	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 理事
2019年	一般社団法人日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士 (摂食嚥下障害領域)



# 立候補届

令和4年 2 月 2 日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会  
選挙管理委員長 殿

定款第 24 条・25 条及び選挙規則第 6 条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 高橋 正和  推薦者氏名： 青柳 みさき 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400 字以内)：

平成 24 年より理事、広報局会報編集部部长を担当、平成 26 年より理事、学術局研修部部长、平成 28 年より理事、広報局局长および広報部部长、平成 30 年より理事、社会局広報部部长を務めさせて頂いております。職能団体として発展していくために、微力ながら理事としてそのための活動に尽力できればと思い立候補致しました。多くの会員の皆様と同様に臨床家として働いている現場感覚を大切に、皆様からのご指導をいただきながら、頑張りますのでよろしくお願い致します。

経歴：

2004 年 医療法人石和温泉病院 入職

# 立候補届

令和4年 1 月 26 日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会  
選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 舟越 あゆみ  推薦者氏名： 望月 理恵 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

1期2年間、渉外部の副部長として携わって参りました。地域の活動としては、デイサービスでの機能訓練に加え、自立支援型地域ケア会議への出席や介護予防教室・出張保健室等での介護予防に関する普及啓発活動をしております。その一方で、地域によっては、在宅サービスの資源が少なく、住み慣れた地域において、対象者様が安心して生活していくための支援が、まだまだ十分ではない現状があります。

地域における活動を通じて、言語聴覚士・言語聴覚療法の普及啓発に繋がるよう、しいては、病院や施設・事業所等に関わる患者様・利用者様だけでなく、地域においても安心して生活できる支援へと繋がるよう、微力ではありますが、より一層、尽力して参りたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

経歴：

平成21年4月	医療法人社団青虎会	介護老人保健施設 あすなる	入職
平成22年4月	医療法人社団青虎会	ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院	転属
平成29年10月	医療法人社団青虎会	ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院	退職
平成30年4月	社会福祉法人真正会	デイサービスいろは	入職
令和2年4月	一般社団法人山梨県言語聴覚士会	理事	


# 立候補届


令和4年 2月 3日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 元木 雄一郎 

推薦者氏名： 赤池 絢 

立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

これまで理事の職を3期務めさせていただきました。現在は学術局局長として活動しています。今後も患者様や県士会会員の皆様のお役に立てるように力を尽くしたいと考え、理事に立候補致します。

経歴：

2005年 高知リハビリテーション学院卒業

2005年 甲州リハビリテーション病院入職

現在に至る

## 立候補届

令和4年 2月 1日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 山田 徹



推薦者氏名： 尾形 晶子



立候補役務：  理事 ・ 監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400字以内)：

私は言語聴覚士として臨床経験10年目になります。臨床では、急性期の成人分野に携わり、摂食嚥下障害・構音障害・コミュニケーション障害に対してのリハビリを経験してきました。通常の患者業務以外にも地域の介護予防・認知症施策への活動に取り組んで参りました。県士会活動としては、認知症対策推進委員会担当理事として委員長を2期務めて参りました。2020年の新型コロナウイルス感染症によって環境は一変しましたが、新しい生活様式の中で、新たな取り組みにも積極的に挑戦していきたいと考えております。個人としての自己研鑽を積み重ねていくとともに、理事として地域のニーズに適した言語聴覚療法が提供できるよう尽力して参りたいと思っております。

経歴：

平成25年3月 多摩リハビリテーション学院専門学校 言語聴覚学科卒業  
平成25年4月 医療法人社団協友会 笛吹中央病院リハビリテーション技術科 入職  
平成30年4月 一般社団法人山梨県言語聴覚士会理事  
認知症対策推進委員会委員長  
令和4年2月  
現在に至る



# 立候補届

令和4年1月29日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第24条・25条及び選挙規則第6条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 吉澤由香  推薦者氏名： 河村有美 

立候補役務：  理事  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨(400字以内)：

私はこれまで4期にわたり理事を務めてまいりました。理事に就任した当初に比べ、地域に根ざす言語聴覚士に期待される役割は増大し、臨床業務におけるオーダーメイドな専門性の提供はもちろんのこと、社会・地域ニーズにこたえるべく地域リハビリテーションに係わる事業等が拡大し続けており、職能団体が果たす責務や期待は年々大きくなっていると感じております。2年以上に及ぶコロナ渦において、新しい生活様式に沿う中で、職能団体としての責務を果たすべき機会も増えております。これまでの経験を活かし、「今」を見つめ、社会ニーズに応えられる「未来」を皆様と作り上げられるよう努めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

経歴：

2006年4月	甲府城南病院	リハビリテーション部	言語聴覚療法科	入職
2013年6月	甲府城南病院	リハビリテーション部	言語聴覚療法科	主任
2014年4月	一般社団法人山梨県言語聴覚士会	理事		現在に至る

# 立候補届

令和 4年 2月 22日

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

選挙管理委員長 殿

定款第 24 条・25 条及び選挙規則第 6 条に基づき、下記のとおり立候補致します。

氏名： 中村 晴江



立候補役務：  理事 ・  監事 (いずれかを○で囲む)

立候補趣旨 (400 字以内) :

この度理事会のご推薦をいただき、理事に立候補いたしました甲府城南病院の中村晴江です。私はこれまで、学術局長や副会長として、学術活動を基盤に、生涯学習の推進・言語聴覚療法の啓発活動に携わってきました。また、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会や「摂食嚥下サポート やまなし」での活動を通して地域における多職種連携を進めて参りました。

様々な制度改革や長引くコロナ禍の中で、言語聴覚療法にもパラダイムシフトが求められている大事な時期です。言語聴覚士として社会的認知・信頼および地位の向上を図る為にも職能団体の果たす役割・意義はますます大きくなっていくと考えております。言語聴覚療法の対象となる方、会員の皆様に少しでもお役に立てるよう、再度理事として任を果たしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

経歴 :

[職歴]

1996 年 医療法人慈光会甲府城南病院 入職

2011 年～ 医療法人慈光会甲府城南病院 言語聴覚療法科科长 現在に至る

[活動]

・ 2010 年～2014 年 山梨県言語聴覚士会 副会長

・ 2014 年～2018 年 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長

・ 2015 年～2018 年 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会会長

・ 2018 年～2021 年 一般社団法人日本言語聴覚士協会 代議員

・ 現職：一般社団法人山梨県言語聴覚士会 監事 摂食嚥下サポートやまなし 運営委員